

# かけはし

2018  
Vol.78  
March



ニュースグループ



イベントグループ



国際理解教育ファシリテーター  
ファシ138



通信・連絡グループ



クッキンググループ



ホームステイグループ



日本語ひろばびさい

みんな国際交流協会  
ボランティアの仲間！  
2018年も協会を中心に  
世界と繋がり盛り上げて  
いきます。



通訳・翻訳グループ



日本語ひろばいちのみや



日本語ひろばジュニア&寺子屋いちみん





# ホームステイでの貴重な体験と大切にしたい縁

JICA研修員ホームステイ体験談 11.25~26

iaが実施するホームステイに、今回初めてホストファミリーとして参加された、加納さんの感想を紹介します。ホームステイ参加者は、1日目はベテランホストの中野さんのお宅に泊まり、2日目は加納さんご家族と過ごされました。

お子さんも含め、良い体験が出来たようで何よりです。皆さんの楽しそうな笑顔が素敵です。せっくなので、このご縁をずっと大切にしてくださいね。次回はぜひ、ご自身のお宅での受入れも体験してみてくださいね！

なかなか海外に行くのは難しいかもしれませんが、ホームステイという形でいろんな国の文化に触れてみるのもいいですね。子どもがもう少し大きくなったら、ぜひ私もやってみたいと思います！（大野）



(以下、加納さんの体験談)

今回、全く予期していなかったのですが、半日だけ海外の方のホストをさせていただくことになりました。相手はイブさんというパラオの女性でした。

日本の文化を紹介できたらと思い、犬山散策と陶芸体験をすることにしました。子ども2人（4才、6才）と主人と同行しました。英語が堪能でホスト経験も豊富な中野さんが一緒に来てくれたことで私たちはとても助かりました。陶芸のときの通訳をしてくれ、海外の方をこんな感じでホストできるという、だいたいの感じがわかりました。



主人は英語の勉強のためと、同行していたのですが、結局何も話さずに終わりました。子どもたちはかなり恥ずかしがりながらも、それなりに受け答えしていたようです。

2つ結ばれていた干し柿を、長男とイブと一緒に食べていたのが印象的でした。イブは、カタコトの日本語で、子どもたちの写真のポーズや犬山のキャラクターわんまるをみて、「カワイイ」と言っていました。とても親しみやすい女性でした。

桃太郎神社にも行ったのですが、桃太郎の歌をイブのおばあさんがよく歌っていたそうです。内容は知らなかったようですが、日本とパラオとの繋がりを感じ、感慨深く思いました。

今回は犬山城界限はあまり時間がなく、歩きつくせなかったのですが、陶器ができあがる頃にイブとまた行けたらと思っています。

良い縁ができて、家族共々感謝です。



# ニュージーランドのミートパイ作り ～実は文化にも影響している!～

大和公民館 料理実習室 2.22

国際交流員のジョノさんに自国の国民食ミートパイを作りながら、パイを通して見えてくるニュージーランドについて教えてもらいました。国際交流員のバイクやハイキングが好きという



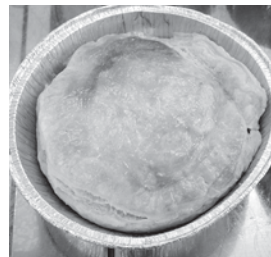
自己紹介、一宮市での学校訪問、翻訳の仕事の説明から始まりました。

次に、ニュージーランドを知ってもらうため

に、学校訪問時にも使う細長い短冊のカードを使い、クイズ形式で参加者に問いかけました。「首都ウエリントンが国で一番大きな町ではない」、「水道水は無料で使い放題」、「牧場では国民一人当たり100kgのバターと65kgのチーズを作る酪農王国」など、多分野の問題に解答することで、ニュージーランドの魅力ある一面を知りました。

そしてミートパイと文化の関係は、日本でいうおにぎりに匹敵するもので、いつでもどこでも色々な種類のミートパイが手に入ります。全国民が1年間で7千万個（一人あたり16個）も食べる料理であり、その極めつけは、5,000個以上のミートパイが集まるコンテストで優勝のパイを決めることだそうです。食べ方もケチャップをたっぷり加えて食べる高カロリーな食べ物です。おかげで、一部に社会問題となる肥満の問題を引き起こしています。

さあ、ミートパイ作りです。パセリ、ニンニク、ミンチ、タマネギ、パイ生地をジョノさんのタイムスケジュールのもと調理し、美味しいパイが出来上がりました。参加者・お手伝いのボランティアと2人の国際交流員と和気あいあいの楽しい時間を過ごしました。（佐野）



## 日本語の教え方セミナー

市役所本庁舎会議室 1.16 入門編、1.23 実践編

日本語の教え方セミナーが開催され、名古屋YWCAの磯村美保子さんに入門編、伏屋由美さんに実践編を、それぞれご指導頂きました。平日の昼間の講習でしたが、共に25名以上が出席し、熱心に受講していました。

現在日本に在留資格を持って住んでいる外国人は、約238万人(2016年調べ)、一宮市には約5,800人の外国人が住んでいます。外国人が日本で暮らすため、必要最低限の、すぐに使える日本語を覚えなければなりません。



磯村美保子さん



伏屋由美さん



私たち日本人は、無意識に日本語を使っていますが、私たちが学ぶ国語と、日本語を母語としない外国人が学ぶ日本語教育とは全く異なります。

日本語のルールはとても複雑、難解で、無意識に使っている日本人が、外国人をどう指導すればよいのか戸惑うことも多いのですが、動詞を変化のルールによって3つのグループに分けることや、テキストの上手な使い方などをご指導頂き、2時間の講座はあっという間でした。

一宮市では現在、外国人向けの日本語教室が、4カ所で開かれています。どこの教室も熱心なボランティアの指導で運営されています。興味のある方、一緒に始めてみませんか？（ゆこ）





# とれたてイタリア! 野菜たっぷりパン教室

尾西生涯学習センター 1/21



黒キャベツとラディッシュを使ったスープ



ルッコラ&生ハムのフォカッチャ (パルメザンパン粉がけ)



左: イタリアンパセリのチャバッタサンド (スモークサンドとフィノッキオ)  
右: ビーツとクランベリーのスイートブレッド

市内にあるブルーランジュリー アヴェックのシェフ 上村昭博さんをお迎えし、イタリア野菜を使ったパン教室が開催されました。

黒キャベツ (カーボロネロ) とラディッシュを使ったスープ、3種類のパンと、盛りだくさんのメニュー。フォカッチャは、粉を混ぜるところからスタート、他のパンも成形した後に発酵させなければならず、本当に時間内に出来上がるだろうかと心配してしまいました。

それでもシェフの丁寧な指導とクッキンググループのボランティアさんのサポートで、無事おいしいお料理が完成。参加者は、「見たこともないようなイタリア野菜を使うことができ、とても楽しかった。」「焼きたてのパンがおいしかった」と大喜びでした。(日野)





# 平成29年度ボランティア交流会

向山公民館 2.4

年度末恒例のボランティア交流会が今年も90名という多数の人が集い、盛大に行われました。

進行係はいつものようにイベントグループです。まず国際交流協会事務局長の岩田さんの挨拶で始まりました。スケジュールは3部からなります。

◎昼食交流会でクッキンググループの皆さんが作ったメニューは、カツレツ、スモークサーモンサンド、玉子サンド、クリームぜんざい。尚サーモンサンドに使ってあった野菜はグループの皆さんが丹精込めて育てたイタリア野菜でした。これらをたいへんおいしく頂きながら各テーブルでは話がはずんでいました。



◎「力をあわせてi i aクイズ」を ファシ138の皆さんの進行で楽しみました。

一宮市に一番多く住んでいる外国人はどの国の方でしょうか？…皆さん分りますか？実はフィリピンの方々が一番多く、二番はタッチの差で中国の方々でした。他のクイズは各テーブルに外国の方々が入っていたので意外と簡単に答えが出ましたが、最後の問題は難しかったので皆さんスタッフに「ヒント！」「ヒント！」を連発していました。でも答えが分ると“な～んだ”といった表情でした。

◎最後に本日のメインイベント「一宮の文化にふれる『島文楽』<sup>しまぶんらく</sup>公演&交流」が行なわれました。文楽とは300年以上の歴史をもつ日本の伝統的な人形芝居<sup>ぶんらく</sup>です。150年ほど前、一宮市の島村地方にこのあやつり人形が伝わりました。島文楽は3つの役割によって進められていきます。1つ目は三味線をひく人。2つ目はその場の説明、進行と



人形のセリフを、節をつけて語る人（太夫<sup>たゆう</sup>）。3つ目は人形をあやつる（動かす）人です。人形を使う人は3人、皆黒い着物を着て頭にも黒い頭巾（帽子）をかぶり、顔もすけて見える黒い布（面<sup>めん</sup>包<sup>ぼう</sup>と言います）でおおっています。彼らは無言で人形を動かします。なぜこのような衣装で人形を動かしているのかと言いますと、日本の伝統芸能ではよく見かけますが、実はこれは“いない”ことになっているという約束事なのです。そうそう、人形使いの中に、小学生の女の子が1人いました。今回で2度目ということでしたが、こうした若い子が後をついでくれることは頼もしい限りです。公演のあとは参加者の皆さんとの交流会で



写真をとったりして楽しい時間を過ごすことが出来ました。

（雲谷斎）



# 日本語教室でパーティを開催しました！

市内4箇所の日本語教室での勉強の様子や、12月に各教室で開催しているパーティの様子を紹介します。

## 日本語ひろばジュニア・寺子屋いちみん クリスマス会

ききょう会館 12.16

外国人の子どもたち向けの日本語教室2つ合同でクリスマス会をしました。クッキング班手作りのごちそうに、子どもたち大さわぎです。(ゆご)



クリスマスパイケーキを、自分で作って食べました。



惣菜マフィンをこれから焼きますよ。



大きなクリスマスプレゼントをもらいました。

## 日本語ひろばいちのみや ポットラックパーティ

向山公民館 12.10

午前中は日本語をしっかり勉強。午後は料理とギター演奏という、楽しい一日でした。カナダから来日して4年の男性から、「起きる」と「起床する」ではどのようにニュアンスが違うのか、と聞かれて私には答えられませんでした。(樋口)



## 日本語ひろばびさい お楽しみ会

三条つどいの里 12.17

いつもの日本語を教える、教えられるの立場を超えて共に楽しい時間を共有しました。遊びあり。歌あり。日本語でのスピーチあり。ミニコンサート、そして賞品多数のビンゴで楽しい時間を過ごしました。(佐野)



“四季の歌”をみんなで歌いました。



これが揃ったカードです！

日本語教室では現在、ボランティアを募集しています。興味のある方はiia事務局までお問い合わせください！



# おとなりさん



「シンチャオ(こんにちは)! 私は2年前にベトナムから一宮に来ました。いま市内の一番古い毛織物メーカーで研修中です。私はベトナム中部の古都フエの近郊生まれで、両親と兄の家族は今もそこに住んでいます。高校を卒業後ハノイの日本語学校で半年間勉強してから日本に来ました。もっと上手な日本語が話せるように日本語ひろばに通っています。」

流暢な日本語で自己紹介してくれたのはグエン・ティ・スオンさんです。まだ20歳を少し過ぎただけの可愛らしい女性です。

一宮の生活は、「住みやすくいいところですね。お好み焼き、たこ焼きそれにうどんが大好きです。納豆は苦手だけど、梅干しやタクアンはおいしいと思います。一宮の生活で困っていることはありません。」と、いまの生活を楽しんでいるようです。それにしても質素な食生活ですね。こんど寿司かすき焼きでもごちそうしてあげたくなりました。

将来については、「私は3年間の研修が終わったらベトナムに帰ります。日本にいる間に日本語能力試験に合格して、それを生かせる仕事をしたいです。旅行のガイドもいいかなと思っています。」若いのにしっかりとした意見を持っています。

「日本に来てから忙しくて旅行をしていませんが、正月休みに友人と大阪と京都に行ってきました。フエは古い街で京都みたいなとても良いところなのでぜひ訪ねてください。日本に来て良かったと思えるように、これからも勉強や仕事に頑張ります。」と、明るく話してくれました。

スオンさんはいま日本語ひろば(いちのみや)に休まず通って日本語を一生懸命勉強中です。日本語能力試験のN2合格を目指しています。3年間は長いようでもあっと言う間に過ぎてしまいます。日本での暮らしが実り多いことを祈っています。明るい笑顔が印象的な“おとなりさん”でした。

(荒楠)



## iia information

### イタリア文化と初級イタリア語講座

友好都市トレビーズ出身の国際交流員がイタリア・トレビーズの歴史や文化を紹介しながら、イタリア語を基礎から教えます!

日時: 5月11日~6月29日の毎週金曜日  
午後2時30分~4時 ※1(全8回)

会場: 市役所本庁舎11階1101会議室

講師: 国際交流員グリッロ・アレッサンドラ

受講料: 3,000円(教材費を含む)

申込み: 4/19(木)までにiia事務局まで ※2

※1 初回と最終回は午後2時30分~4時30分

※2 昨年度に同講座を受講された方は、お申し込みいただけません(同じ内容のため)

### iia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。

Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



\*iiaでは、協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。

また、一宮市の国際交流の中心となって活躍いただく親善ボランティアも随時募集しています。

詳しくはiia事務局までお問い合わせください。



# 地球あっちこっち

市国際交流員の経験を生かし、2017年10月から在ニュージーランド日本国大使館で勤務。学校訪問やイベントを行い、日本の文化を伝える。

## 続く交流、つなぐ架け橋

ロザンナ・フィンクルヴァーン

一宮市のみなさん、お久しぶりです！元ニュージーランドの国際交流員、ロザンナです。みなさんはお元気ですか？戻ってからかなり忙しいですけど、私は元気で、楽しいニュージーランド生活を送っています。



実家から少し離れた、中央ウェリントンで妹と二人暮らしをしています。海も山も森も近くて、鳥の鳴き声を聞きながら起きます。コーヒーがおいしくて、風が強くて、ウェリントンは個性があっておもしろいです。

では、皆さんがきっと気にしている、仕事の話をしましょう！一宮から出る前に一番よく聞かれた質問はやっぱり、「仕事はどうする？」でした。仕事が見つかるかどうか不安だった私は、日本関係ならなんでもいいとしか答えられなかったです。しかし夢が叶って、私は今、在ニュージーランド日本国大使館で勤めることになりました！広報文化センターの一員として、日本の文化をニュージーランドの人に伝えたり、日本に関するイベントを企画したりしています。

聞いたことがある活動だと思いませんか？そうです！一宮市でやったことと共通点がたくさんありま

す。まだ慣れていない仕事は、やっぱり大使との仕事です。大きいイベントのスピーチや叙勲伝達式などの仕事はさすがに緊張します。でも毎日新しいことを学んでいて、とても楽しいです。日本へ行く留学生も担当していて、自分の大好きな日本をもっとたくさんの人に知ってもらえて最高です！

きっと、一宮市での経験のおかげで、今の仕事が決まったと思います。私は学校の子どもや先生、市民の皆さんにたくさんの事を教えてもらいました。その経験とスキルを今の仕事で一生懸命活かして、これからもニュージーランドと日本の架け橋になれるよう、頑張ります！

本当に一宮で過ごした時間は、楽しいだけではなく、自分の将来にも大きく影響をしていました。感謝と幸せな思い出でいっぱいです。ありがとうございました。また必ず一宮市に行きますから、よろしくお願いします！



ウェリントン市街地の風景

## 編集後記

コツコツ、一歩ずつ。何を体得するにも大切なことです。でも、それが苦手です。最近は、おもしろそうだなと興味がわいたことも、どうせ長続きしないからと、始める前からあきらめてしまうこともありました。けれど、2月にあったボランティア交流会で多くの人と話してみると、皆さん多趣味でいろんなことに挑戦されていました。「ちょっとずつかじるだけでも、楽しんだもの勝ちかも・・・」と覚えてきました。さあ、春です！動き出すには最適な季節ですね。新しいことに挑戦してみませんか？！  
(伏原)

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

\*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。